

Title	語文 第10輯 編輯後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1954, 10
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68441
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編 輯 後 記

ここに第十輯を記念して特に大阪和学の特輯号とし、ささやかながら自祝することにした。今回の主題は五井蘭洲を中心とした懐徳堂の和学であるが、ここに洩れた事項について、また他の部分については、回を追ってこの形式で発表してゆきたいと思つてゐる。われわれの調査については、いろいろ疎漏な点や未知のことも多いと思ふが、このやうなわれわれの企ては多数の協力を得なければ到底完成しがたいものであるから、何卒諸先輩のお氣づきの点についての御教示をお願い申したい。

ともかく、語文も十輯にまで漕ぎつけたのである。編輯部としても感慨なきを得まい。わたくしは同人諸君の芳に多謝すると共に、また発行者の厚情と大方の御支持とに對して深く御礼を申しあげ、われわれは本誌の使命をいよいよ自覚して今後一層精進せむことを期するものである。近ごろ、いろいろな事情で遅刊と

なつてゐるが、これも努力して正常に復せしめたいと思つてゐる。引きつづき御後援のほどをお願いする。

(小島)

本誌の発行所が前号からかわつて文進堂となつた。したがつて御購読下さる方は御送金下さる際、奥付記載の新振替番号に御注意下されたい。

本輯には第一輯からの内容目次を掲げた。部数には限りがあるが、なお、各輯とも若干の在庫があるので、御希望の方は発行所宛振替でお申込み頂きたい。

本輯は懐徳堂の和学に関する特輯であるが、懐徳堂は現在、大阪大学文学部内に移り、その蔵書の保管と事業の継続は同大学で行うことになつてゐる。

また、懐徳堂からは雑誌「懐徳」(定価七十円)が発行されている。御入用の方は大阪大学文学部内懐徳堂宛御照会を乞う。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

(八木)

◆ 投稿規定 ◆

○ 直接購読者は投稿することができ、
○ 原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙二十枚以内とする。

○ 原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。

○ 原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
○ 採用しなかつた原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。

○ 一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

◆ 雑誌の寄贈・交換について

○ 雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴原大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

◆ 購読について

○ 購読希望者は発行所宛前金を添えて申込むこと。(送金は振替を利用されたい)

一部 五十円 送料八円
一年分(四回分) 二百円(送料共)

○ 五冊以上一括購読の時は一割引の上送料は不要とする。

